

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

評価年月日:令和 5 年 2 月 28日

公表:令和 5 年 4 月 1 日		事業所名:コトモビルジ嬢校			
環境・体制整備	チェック項目	はい		工夫している点	困難や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
業務改善	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		6		
	2 職員の配置数は適切である		4	2	時間帯により、子どもの見守り人員が不足している日がある。人材を増やす必要あり。現状、キッズルームを閉鎖するなど、人員によって対応している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	3	階段手すりが片側しかついていないので両側に付けた。避難用の階段は危険が多い。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している		6		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		6		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		6		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		6	アセスメントに加え、必要に応じて送迎時に聞き取りを行っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		4	1	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		5	校舎会議時に実施している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		6	校舎会議時に実施している	
	13 平日、休日、長期休暇の応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		3	2	大きな設定はしているが、長期になると詳細に決まらない時もある。お出かけなど、事前準備が十分でないことがあるので細やかに計画を立てていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		6		校舎会議などで話し合いを進めていく必要がある
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		6		役割分担、職員配置について確認し、利用者同士の意見点についても確認している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6		情報共有シートを用いて全体であった職員も情報共有できるようにしている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		6	1	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		7		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		4		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している		5		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		6		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えている		3	1	今後、該当利用者があれば整えていく
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3	2	必要があれば、十分な話し合いや共有ができていないと思う。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する場としている		5		今後、該当利用者があれば整えていく
	25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4	1	開所1年余りでまだ卒業した利用者はいない
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6	
	27 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加している		4		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		6		送迎時に情報伝達を行っている
	29 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		6		契約時に伝えている
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		6		支援についてはスタッフ間でよく話し合う必要があると感じる
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		機材としてはなく、コトモとしての取り組みはある
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		9		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		9		
	35 個人情報に十分注意している		9		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		9		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7	
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		5	1	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		6		月1回毎を基準として実施している
非常時等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		6		年1回の社内研修に参加している
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		6		契約時に伝えている
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている		5	1	契約時に説明と同意書に署名をもらっている。計画書にもその旨の記載はある。そのような場面があった時は、対応したスタッフと管理者とで説明している。
	43 ことやハット事例集を作成して事業所内で共有している		3	2	Googleドライブを活用した共有ツールを設けている